



Info Mart

インフォ・マート

(自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ) 04-2998-7777 | <https://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol.139



二兎社公演 49

「狩場の悲劇」 ▶▶P1

五嶋みどり [ヴァイオリン]

ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団 ▶▶P3

シルク・ドゥラ・シンフォニー

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ▶▶P5

狩場の悲劇



《インタビュー》脚色・演出 永井愛



脚色・演出 永井愛

劇作家・演出家。二兎社主宰。桐朋学園芸術短期大学演劇専攻科卒。「言葉」や「習慣」「ジェンダー」「家族」「町」など、身近や意識下に潜む問題をすくい上げ、現実の生活に直結したライブ感覚あふれる劇作を続けている。2025年『パートタイマー・秋子』『こんばんは、父さん』にて第32回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。

1880年代を舞台にしたものであろうと、普遍性についてはお墨付きなんです。チエーホフは俗物が大嫌いで、その作品は俗物について書かれているといってもいいほど。今の日本で起きている色んなこともリンクしている。100人いたら、99人は俗物で、俗物じゃない人が俗物のためにえらい目に遭うというのが人類の普遍的な姿なのかもしれません。だからチエーホフの作品は古くならない、本当に面白いと思います。

Q. 自身の作品に共通するもの

私は、芝居は他人の人生を体験する、体験型の芸術だと思っています。いつの時代のものであるろうとも、もし自分がこういう状況におかれたらどうなるだろう、という視点を失ったらつまらなくなってしまふ。だから実際の出来事とは違っても、あなたも同じ状況になる可能性はありますよ、と巻き込みたい気持ちはいつもあります。

Q. 所沢のお客様へメッセージ

所沢のお客様は演劇を愛してくださっていると思いますし、今回千秋楽なので絶対に失敗出来ないなど。私は全公演観に行くのですが、それは別に監視したい訳じゃなくて(笑)、奇跡が起きる瞬間を見たいんです。芝居は生物なので、1ヶ月稽古して出来なかったことが出来るようになった状態で幕を開け、上演中にインスピレーションが起きて稽古場で見つからなかったことが必ずみつかる。そこから各地のお客様の感受性を取り込んでいくので、所沢の公演では、1番良いものを観ていただけるんじゃないでしょうか。今回も期待していただきたいと思っています。

等に演出されてきました。地方公演も全公演細かく観て下さって、毎日楽屋にいらっしゃるので、「コンコン」というノックがトラウマになるくらい(笑)。でも今思えば、そこまでやってくれる演出家さんっていないので、どれだけ恵まれていたんだと、今思い返すとまたその環境に身を置けるというのはとても嬉しく思っています。

門脇 今回初めて出演させていただくんですけど、芝居と人間に興味がある方だなと。暗いお話でも、そこに対する興味の矢印が陽な方なんだろうなという感じがしていて、観ていて気持ちいい。きっと、永井さんの作品は演じる役者の方が気持ちよさを感じるんじゃないでしょうか。

絶対いつか一緒に過ごしたいと思ってた方と今回一緒に過ご出来ることに嬉しさを感じています。

Q. ツアー公演へ向けてのメッセージ

溝端 劇場との出会い、街との出会い、この劇場この場所だから出来るという瞬間を楽しんでいただきたい。若い世代にも是非観ていただきたいです。

門脇 私にとっても初めての劇場ばかりなので、その場だけが出来ない私たちの姿をたくさんの方に観に来ていただきたいです。

あらすじ

1880年のロシア。モスクワのある新聞社に、カムイシエフという元予審判事が「狩場の悲劇」という自作の小説を持ち込む。それは、彼が実人生で遭遇した殺人事件を題材にしたもので、オーレンカという森番の娘とカムイシエフ、知人の伯爵、伯爵邸の管理人が四つ巴に絡んだ愛憎劇。小説を編集長に預けたカムイシエフは、掲載の可否を聞くため、三か月後にまた現れた。「僕の小説には、どんな判決が下されましたか？」まだ読んでいないと追い返そうとする編集長。だがカムイシエフは勝手に小説を語り始めてしまい――真夜中の編集室で「狩場の悲劇」が展開される。

チエーホフの知られざる小説をベースにした
永井愛4年ぶりの新作。
愛憎渦巻くミステリーに
仕掛けられた驚愕のトリック。
「チエーホフ×永井」
唯一無二の作品に
ご期待ください。

《インタビュー》 主演 溝端淳平・門脇麦



溝端淳平 みぞばたじゅんぺい

和歌山県出身。映画「赤い糸」で日本アカデミー賞・新人俳優賞を受賞。以降、映画、ドラマ、舞台など幅広く活躍している。二兎社は2012年の『こんばんは、父さん』以来、二度目の出演。



門脇麦 かどわきむぎ

東京都出身。2011年にデビュー後、2015年に第88回キネマ旬報ベスト・テン新人女優賞を受賞。その後、エランドール賞新人賞、ブルーリボン賞主演女優賞、ヨコハマ映画祭主演女優賞を受賞し、映画、ドラマ、舞台とジャンルを問わずに活躍中。二兎社初参加。

Q. 今回の作品のオフアアが来た時の気持ち

溝端 2012年に「こんばんは、父さん」に出させていただき、今思えばとんでもないハードルの作品に挑戦させていただいたなと…。あの時の経験が人生の糧になっていると思ってるので、13年ぶりにまた声をかけていただいたことが非常に嬉しくもあり、また初心に返って「これから鍛え直していただく気持ちで挑みたいと思っています」。

門脇 オフアアをいただき、直接永井さんとお会いして話しを聞いた時に「面白そうだ」と思って、その場で「やります！」と言いました。

Q. 本作品「狩場の悲劇」の印象

溝端 ミステリーなんだけど、ロシアの富裕層たちの人間模様や、チエーホフの鋭い描写がいっぱい書いてあって面白いなど。自分の演じるカムイシエフという予審判事がなかなか癖のある人間的なモラルが欠落している人間なんです。そんな人間の手記がストーリーのメインなので、僕はずーっと気持ち悪い。ずーっと気持ち悪いなと思ってる(笑)。でも、その中でハラハラドキドキするところがこの作品の魅力ですね。

それに永井さんの作品は人間の温もりがダイレクトにささる作品が多いと個人的には思っていますけど、この作品の中にはそういうものはあまりないと思っています。だからこそ、永井さんごとの作品がどう化学反応を起こすのか、僕はそのことがとても楽しみです。

門脇 ミステリーといいつつ、そんなにミステリーではなくて、その枠組みを使って人間考察をしていくというか、その中に人間の欲望だったり、業だったりが組み込まれていて…

Q. 永井愛とその作品の印象

溝端 演出が細かいです。愛のある千本ノック。そして演劇少女のようにいつも目をキラキラ輝かせている方だなと。前回の作品でも20代の新人の僕は当然ながら、先輩である平幹二郎さん、佐々木蔵之介さんに対してでも平

公演特設ページはこちら



所沢公演詳細

二兎社公演49 「狩場の悲劇」

出演 溝端淳平 門脇麦 玉置玲央
亀田佳明 大西礼芳 加治将樹
岡田地平 ホリユウキ 水野あや
石井愼一 佐藤誓

〈所沢公演 詳細〉
2026年
1月17日(土)・18日(日)
(各日共に)
12:15開場 13:00開演
マーキーホール

好評発売中

〈料金〉全席指定 6,300円 メンバーズ特別 5,300円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。

五嶋みどり

「ヴァイオリン」



比類なき芸術性と精神性が紡ぎだす崇高な響き ルツェルンの精鋭メンバーとのメンデルスゾーン

世界中で尊敬を集めるヴァイオリニスト五嶋みどりが24年振りに所沢ミュージック・シェアリングに登場する。演奏家として、教育者として、また様々な社会貢献を通じて、芸術の新たな価値を創造し続ける偉大な音楽家が紡ぐ至高の響きに耳を傾けたい。



2013年ミャンマーでの活動。ミュージック・シェアリングでは30年にわたりあらゆる人たちに音楽を届けている。

11歳での衝撃のデビュー
40年間の奇跡の歩み

時代を牽引する演奏家として、芸術を次代へと引き継ぐ教育者として、また長年にわたる社会貢献活動によって、世界中から尊敬を集める五嶋みどりが、24年振りに所沢ミュージック・シェアリングに登場する。演奏家として、教育者として、また様々な社会貢献を通じて、芸術の新たな価値を創造し続ける偉大な音楽家が紡ぐ至高の響きに耳を傾けたい。

あらゆる人々と音楽の
素晴らしさを分かち合いたい

演奏家として教えきれない名誉を手にしてきた五嶋みどりが、活動は演奏だけにどまらない。デビューから10年後の1992年には本格的に社会貢献活動への取り組みを開始。今日まで30年を超える「Midori & Friends」(ニューヨーク)、「ミュージック・シェアリング」(東京)などの取り組みでは、世界各地のコミュニティに出向き、学校、医療施設、山間地や離島などで、信頼する音楽家たちと、あらゆる人々に本物の音楽を届ける活動を続けてきた。

信頼するルツェルンの仲間と
紡ぐメンデルスゾーン

ヤンソンス&ビッツバーク響以来、24年振りとなる五嶋みどりの所沢公演は、ダニエル・ドッツがリーダーを務めるルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団との共演によるメンデルスゾーン。両者の共演はベートーヴェンの生誕250年を祝う2020年に予定されていたが、新型コロナウイルスの急速な拡大を受けツアーが中止になってしまった。その際、無観客のホールでレコーディングされたのが「ベートーヴェン・ヴァイオリン協奏曲／2つのロマンス」である。その後、パデミックの収束を機に、ヨーロッパツアーやアメリカツアーで音楽的な対話と信頼関係を築きあげてきた。往年のクラシック音楽ファンには懐かしいバウムガルトナーとシュナイダーマンによって創設されたこの合奏団は、カザルス、メヌーイン、ケンフ、ハスキルなど時代を代表する名手と歴史を築いてきた名門であり、何よりメンバーの自発性を重視した繊細で洗練とした響きが特徴。五嶋みどりも「指揮者がいない分、ドッツさんの呼吸やメンバーが目と耳を使って集中力と緊張感をもって演奏していて、まさに共演している!という感覚が素晴らしい」と感じるといふ。

14歳の時、タンゲルウッド音楽祭でバーンスタイン率いるボストン響と共に演奏した際には、演奏中に2度も弦が切れるアクシデントに見舞われたが、即座にコンサートマスターの楽器と交換することで演奏を中断することなく見事に完奏し、バーンスタインを驚嘆させた。この出来事は、翌日の「ニューヨークタイムズ」で「14歳の少女が3挺のヴァイオリンでタンゲルウッドを席巻」という見出しで大きく報じられ「タンゲルウッドの奇跡」として、いまでも語り継がれている。

こうした献身的な活動が評価され、2021年にはアメリカの文化芸術に多大な貢献をしたアーティストに贈られる「ケネディ・センター名誉賞」を受賞した。1978年の同賞の創設以来、日本人が受賞するのは小澤征爾に次いで2人目という栄誉ある賞であり、授賞式にはバイデン前大統領も出席し、その偉大な功績を讃えた。

今回のツアーで取り上げるメンデルスゾーンの協奏曲は、幼い頃から長年にわたり深めてきた作品であり、2003年にはヤンソンス指揮ヘルシンフィリともレコーディングした愛着深い1曲でもある。40年にわたり世界の音楽界を牽引し、音楽の新しい価値を創造し続ける偉大な音楽家、五嶋みどりのいまを映し出す、崇高で温かい音楽、至高のメンデルスゾーンをぜひ体感いただきたい。

ルツェルン・フェスティバル 室内管弦楽団

ダニエル・ドッツ [芸術監督／リーダー]
五嶋みどり [ヴァイオリン]

2026年3月21日(土)
14:15開場 15:00開演
アークホール



好評発売中
〈曲目〉
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64
ベートーヴェン:交響曲 第3番 変ホ長調 Op.55(英雄)
〈料金〉全席指定 S席:21,300円 A席:18,300円
B席:16,300円 P席:14,700円
メンバーズ特割 S席:17,800円 A席:15,800円
B席:14,300円 P席:13,200円

※未就学児の入場はご遠慮ください。※託児サービスあり。
※都合により出演者・曲目の一部が変更になる場合がございます。



能登半島地震の被災地では藤田真央と共に体育館や地域のホールで演奏を届けた



2021年に日本人では小澤征爾に次いで2人目となる「ケネディ・センター名誉賞」を受賞



ドッツ率いるルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団とのベートーヴェン・アルバム



2014年に Hindemith の作品集で 栄誉あるグラミー賞を獲得した。



ニューヨーク・フィルと衝撃のデビューを果たした頃。初めてのアーティスト写真

4才から
入場OK

オーケストラ ×サーカス 魔法のような大スペク タクル・ショーが開幕!

シルク・ドゥラ・シンフォニー

Cirque de la Symphonie

各地大絶賛につき
2年ぶりの来日ツアーが実現!

所沢ミュージズに再び登場!
唯一無二のエンターテインメントが新年を彩る

「コンサートホールにサーカスを」をコンセプトに、フルオーケストラとの共演だけを行う世界唯一のパフォーマンスタググループ、シルク・ドゥラ・シンフォニー。パフォーマーは、いずれもシルク・ドウ・ソレイユ出身の実力派や、オリンピック選手、国際選手権の金メダリストなど豪華パフォーマーが勢揃い。ミュージズには2023年にウクライナ国立フィルとの共演で初登場。スプリングで圧倒的なパフォーマンスで会場を熱狂させた。今回は名門ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団との共演で、新年にふさわしい珠玉の名曲の数々をお送りする!

ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団が登場!

新年を彩る華やかなウィーン・ワルツの調べ。本場ウィーンの音色を届けるのがウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団だ。1844年に「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス2世によって結成され、ホス・ヨスキの時代に黄金時代を築き、ウィーン・ワルツの演奏にかけてはまさに「本家本元」といえる名門オーケストラである。プログラムは「ラデツキー行進曲」をはじめ美しく青きドナウ(天国と地獄(軽騎兵序曲)など誰もが知る名曲の数々。指揮は元ウィーン・フィルのヴァイオリニストのヴェルトナーで、これまでにプラハ国立歌劇場やライプツィヒ歌劇場などヨーロッパ一流の歌劇場で首席指揮者などをつとめた超実力派・シルクのスプリングな演技と共に、本場ウィーンで磨き抜かれた優雅で華やかな音色をご堪能いただきたい!

リボンダンス

しなやかなリボンの舞は
まさに空中のアート!

ストロングマン

もはや芸術の域!
鍛え抜かれた肉体が創り出す
奇跡のバランシング・アクト。



エアリアル

重力を忘れるほどの優美な舞と
スプリングな空中演技に息をのむ!



スラックワイヤー

高度なバランス感覚と
華麗な身のこなしに目が離せない!



エアリアル・ボール

空中でのアクロバットは
驚きの連続!
縦横無尽に舞う
究極のパフォーマンス。



バントマイム&ジャグリング

次々と繰り出される奇想天外な技に
驚きと笑いが止まらない!



ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団

シルク・ドゥラ・シンフォニー ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団

2026年1月3日(土)
12:15開場 13:00開演
アークホール



公演情報

好評発売中

〈曲目〉
ビゼー: 歌劇「カルメン」より
オッフェンバック: 天国と地獄
スッペ: 《軽騎兵》序曲
ファリャ: スペインの踊り
J.シュトラウス2世: 美しく青きドナウ
J.シュトラウス1世: ラデツキー行進曲 ほか

〈料金〉全席指定 S席: 15,000円 A席: 12,000円
B席: 9,000円

メンバーズ特割 S席: 13,000円 A席: 10,500円
B席: 8,000円

※4歳から入場可。※託児サービスあり。
※曲目・演目に変更になる場合がございます。

ステージレポート Stage Report

6月22日
～7月26日

6/22 (H) 北欧・スウェーデンの夏至祭
ヴェスタノー [スウェーデン伝統音楽]
〈マーキーホール〉
曲目 / 花咲く季節がやってくる! ほか



6/29 (H) ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
ラハフ・シャニ [指揮]
ブルース・リウ [ピアノ]
〈アークホール〉
曲目 / モーツァルト: 〈フィガロの結婚〉序曲
プロコフィエフ: ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 Op.26
ドヴォルジャーク: 交響曲 第9番 ホ短調 Op.95 〈新世界より〉



7/4 (金) 第124回所沢寄席
春風亭一之輔・古今亭文菊 二人会
〈マーキーホール〉
出演 / 春風亭一之輔、古今亭文菊、マグナム小林 [バイオリン漫談]



7/6 (H) 爆生!!お笑いin所沢
〈アークホール〉
出演 / ナイツ、U字工事、どぶろっく、ハリウッドザコシショウ、吉住トム・ブラウン、カミナリ、ヤーレンズ、インスタントジョンソン、お見送り芸人しんいち、や団、スパイシーガーリック、ネコノスズ



7/13 (H) エマニュエル・パユ [フルート]
吉野 直子 [ハープ]
〈マーキーホール〉
曲目 / ロータ: フルートとハープのためのソナタ
ドビュッシー: 小舟にて / アラベスク第1番 / 月の光
フォーレ: シシリエンヌ / ファンタジー ほか



7/14 (月) 観て・聞いて・楽しむ
能楽プレ講座
〈キューブホール〉
出演 / 遠藤喜久 [観世流能楽師]



7/19 (土) 親子で楽しむクラシックコンサート
音楽の絵本
〈マーキーホール〉
出演 / ズーラシアンプラス [金管五重奏]
弦(つる)うさぎ [弦楽四重奏]
曲目 / トランペット吹きの日、弦うさぎの好きな花、糸巻きの歌
アラジンよりホール・ニュー・ワールド ほか



7/19 (土) 20 (H) メタファー:リファンタジオ
オーケストラコンサート
〈アークホール〉
出演 / 〈演奏〉ユークロニア王立交響楽団、高井優希 [指揮]
〈コーラス〉グローリー・コーラストウキョウ
〈歌唱〉本良敬典 [長現山妙常寺]、片桐舞子、池田絢子、半谷倫也 [杉並児童合唱団]
〈ゲスト〉目黒将司 〈司会〉磯村知美

7/26 (土) 夏休み!ミュージズとことこ探検ツアー
〈アークホール〉
出演 / 石丸由佳 [オルガン]、原田真侑 [オルガン]
ツアー内容 / 日本最大級のパイプオルガンを弾いてみよう!
パイプオルガンのミニ・コンサートを開催!
ホールや舞台裏を探検しよう!
照明のお仕事を体験してみよう!



写真撮影 (市民カメラマン) / 中村 (6/22、7/6、7/26) 三平 (6/29、7/4) 由井 (7/13) 佐藤 (7/19)

チケットのお問合せは……ミュージズチケットカウンター
04-2998-7777

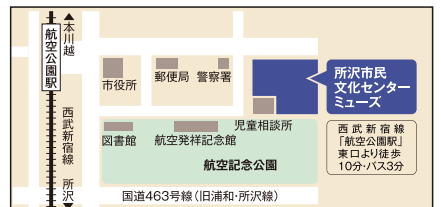
●窓口・電話予約10:00~18:00 ※休館日を除く

●インターネット予約



クラシック・ポピュラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミュージズホームページでご確認ください。
<https://www.muse-tokorozawa.or.jp>



*公演情報は2025年8月22日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなる場合がございますので、ご了承ください。

次のインフォ・マートは2025年11月15日発行予定です。どうぞお楽しみに。